

令和6年度 第3回 大久保東小学校運営協議会 議事録

日 時 令和7年2月7日（金）10:00～12:20

場 所 さいたま市立大久保東小学校 大けやきルーム（南校舎2階）

参加者	大久保東小学校PTA会長	渡部 秀之（会長）
	おやじの会会長	山崎 栄慈（副会長）（欠席）
	上大久保中学校長	高久 正行
	図書ボランティア代表	唐澤 厚美（欠席）
	チャレンジスクール実行委員長	高田 稔
	民生委員・児童委員	片山 加代子
	大久保地区民生委員・児童委員	遠藤 功
	大久保領家西自治会長	飯田 一恵
	大久保東公民館館長	南 崇子
	大久保東児童センター館長	小室 美香
	校長	目黒 良作
	教頭	佐藤 信孝
	教務主任	和久井 剛志
	学校地域連携コーディネーター	安藤 盛光

1 開会【教頭 佐藤 信孝】

2 挨拶

学校運営協議会会長	渡部 秀之 様
校長	目黒 良作

3 学校自己評価シートについて

校長	目黒 良作
----	-------

4 学校評価アンケート結果について（教務主任）

5 熟議 「学校評価を受けて次年度の取組について」

- 学校評価は他校との比較をしているのか。集計等、教員の負担となっていないのか。
- PTAにも言えるが、地位の行事への参加率が気になる。コロナ禍でつながりやコミュニケーションが取れなかった時期もあったせいか、少ない。情報発信の仕方に課題があるが、地域の方々のコミュニケーションが深まるとよい。
- 保護者同士でお互いに声を掛け合える関係が築けるようになってほしい
- 育成会もイベントに工夫を凝らしている。学校の土チャレや習い事、スポーツ少年団などで参加で

きないこともある。スポーツ少年団などで集団とかかわっているのであればよい。

- 自治会の参加者は高齢者が多い。親子で週末に参加するのが少ないと思う。習い事など、休日も忙しくしている家庭が多いのではないか。
- 地区運動会など、とてもいい機会だと思う。自由に参加できて楽しい。
- 学校としても、保護者がどう学校に普段から参加してもらえるか考えるのが課題である。
- 自治会の加入率も低くなってきている。自治会、PTAともに、加入しなくてもデメリットがない、困らない。
- 学校が地域、自治会、保護者を結びつける手立てはないだろうか。
- 子どもが知的好奇心について無関心になっているように感じる。保護者が様々なことを体験させる余裕がない、勉強は学校に任せてしまっているように感じている。
- 中学校では、防災などをとっかかりにしているが、もっと考えていることもある。小、中、高、大学と揃っている学区は珍しい。本地区はそろっている。常盤高校の取組で小学校と連携できないか思索している件もある。埼玉大学という大きな教育資源を活用したいという思いもある。
- PTAにも以前は大学とのつながりがあったが、今は切れてしまっている。
- 子どもの「行きたい」と思う気持ちに働きかけるほうが、繋がりを作る近道かもしれない。そんな活動をできる場所として公民館はどうだろうか。
- 公民館、児童センターの催し物に参加する子は増えている。
- 大学のサークルミュージカルが公民館を利用して活動している。大学の学生祭に参加してサークルに声掛けするのが繋がる近道かもしれない。
- 学習の一環で施設（公民館等）について利用して学習する内容がコロナで切れてしまったかもしれない。
- 教員が地域を知らないかもしれない。家庭訪問も、表札訪問もなくなってしまった。
- 地域訪問で地域を回ることもあるが、案内もないと何があるのかまでわかるのは難しい。
- 地域のことを知ることは大切なことだ。校歌の内容をもとに調べてみるきっかけを作ることも大切ではないか。
- 学校評価アンケートの教育相談に関わる項目で、児童、保護者とも肯定的評価が低いことが気になる。取組等の改善が必要である。
- 保護者からの「教職員いじめ」、職員間のいじめを心配している。
(回答) 現状、大人のいじめはないと認識している。今後も毅然と対応する。保護者からについても、誠意を持って対応することが大事だと思う。
- 地域の教育資源を活用していくことが課題。次年度、地域資源をどう活用できるか、子どもたち意欲を利用した地域とのつながりづくりを模索していきたい。

6 いじめ対策委員会

- 生徒指導より学校の現状についての報告（生徒指導主任）
 - ・いじめの実態や生徒指導の具体例
 - ・長欠児童の実態報告
 - ・児童間トラブルについて

(質問) 外国籍児童との間でトラブル等はないか。

(回答) 外国籍だからということではない。個と個という意味でのトラブルはある。日本語が不自由で意思が伝わらないということでは、そのような児童にはストレスはあると思う。本校の児童は、幼少のころから外国籍の児童がいる環境に慣れているせいか、言葉が伝わらなくてもかかわりあって、排除するような様子は見当たらない。

7 閉会【教頭 佐藤 信孝】